

平成26年4月1日

一般社団法人 日本広告業協会

## 第1回

# 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞

## -Innovative Communication Award-(ICA)

### 審査結果発表

一般社団法人 日本広告業協会（理事長 高嶋達佳・(株)電通 会長）主催による、第1回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 -Innovative Communication Award-(ICA)」は、12月16日にICA実行ワーキンググループによる審査会にて大賞及び優秀賞のコミュニケーションを選出し、3月12日開催の第277回理事会において承認、決定した。

一般社団法人 日本広告業協会 ビジョン小委員会は、会員各社の若手社員18名からなるICA実行ワーキンググループを組織し、その運営のもと、募集・審査を実施した。

本賞は、①業界の若手による推薦・応募・選考・運営（推薦者の要件は会員各社の30歳未満の社員）、②対象となるのは、「人を動かす仕掛け」が含まれていて、「課題があり、これを解決する」という構図とその「結果」が明確な「コミュニケーション」で、従来の広告でないコミュニケーションも対象、③推薦者（応募者）がかかわっていない施策でも応募が可能、という点を特徴とする。

応募から審査まで若手に制限することで、新しい感性や発想を、広告業界に新風として取り込んでいくことを意図している。

第1回の応募総数は164点、その中から大賞を1点、優秀賞を4点選出した。

第1回大賞の「10代でも投票できる選挙-Teens Opinion-」は、選挙権を持たない10代の若者が、Web上で疑似投票を行えるサイトで、各政党のマニフェストを公開、また実名登録を基本とするFacebookを活用することで、実際の選挙と同じ「一票の重み」を感じさせることに成功、総投票数4,000票以上、アクセス数は約100万回を記録した。たった一人の高校生の発案で、わずか数日というスピードで立ち上げたフットワークと、若者の選挙離れを食い止めることをテーマに、広く世の中の関心を集めた点が評価された。

なお、大賞、優秀賞、最終選考に残ったファイナリストは、会報JAAA REPORTS 4月号の特集「第1回『広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞』審査結果発表」及び当協会ホームページ（<http://www.jaaa.ne.jp>）で紹介する。

第1回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞  
-Innovative Communication Award-( ICA )

審査結果発表

(※優秀賞及びファイナリストの記載は応募順)

◆ 大 賞

「10代でも投票できる選挙 -Teens Opinion-」

コミュニケーションの主体：吉田 拓巳 氏（株式会社セブンセンス 代表取締役）

推薦者：大谷 拓 氏（大広）

◆ 優秀賞

「PANDA BLACK Rewear Project 2013 」

コミュニケーションの主体：公益財団法人WWF ジャパン、株式会社京都紋付

推薦者：朝田 泰帆 氏（I&S BBDO）

◆ 優秀賞

「さわれる検索」

コミュニケーションの主体：ヤフー株式会社

推薦者：渡辺 裕介 氏（博報堂）、寺岡 重人 氏（博報堂）

◆ 優秀賞

「商店街ポスター展」

コミュニケーションの主体：新世界市場商業協同組合、文の里商店街協同組合、大阪商工会議所、

株式会社電通関西支社

推薦者：見市 沖 氏（電通 関西支社）

◆ 優秀賞

「Sound of Honda –Ayrton Senna 1989」

コミュニケーションの主体：本田技研工業株式会社

推薦者：富沢 路可 氏（博報堂）

◆ ファイナリスト

「土のフルコース」

コミュニケーションの主体：株式会社プロトリーフ

推薦者：三浦 崇宏 氏（TBWA\HAKUHODO）

◆ ファイナリスト

「雨の日、いいこと。Happy Rainy J-wave」

コミュニケーションの主体：株式会社J-WAVE

推薦者：藤田 卓也 氏（電通）

◆ ファイナリスト

「小学館『大辞泉』 あなたの言葉を辞書に載せよう。キャンペーン」

コミュニケーションの主体：株式会社小学館

推薦者：石井 絢子 氏（東急エージェンシー）

◆ ファイナリスト

「世界一即戦力な男から人事担当の君へ」

コミュニケーションの主体：菊池 良 氏

推薦者：横山 雄太 氏（朝日広告社）